

# 第1回「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」資料

令和6年8月28日（水）  
熊本県 企画振興部 企画課



# ～目次～

## 1. はじめに P1

- 1-1 検討する施設について
- 1-2 検討内容について

## 2. 各施設の現状と課題 P4

- 2-1 対象施設（概要）
- 2-2 各施設の主な課題
- 2-3 現状及び課題  
機能及び稼働実績(R5年度)

## 3. 調査委託について P17

- 3-1 調査委託概要

## 4. 民間資金の活用事例 P20

- 4-1 民間資金の活用事例
- 4-2 公民連携によるメリット

## 5. 今後のスケジュール(案) P26

- 5-1 スケジュール（案）

## 6. 参考(交通アクセス) P28

- 6-1 交通アクセス

# 1. はじめに



## 1-1 検討する施設について

- 老朽化等の課題を抱え、県において整備の方向性の決定を必要としている施設であること。
- 県民がレクリエーションなどを楽しむことができ、健康・体力づくりに役立つ生涯スポーツの拠点となっている施設であること。
- スポーツ大会の会場や、プロスポーツチームの本拠地になるなど、幅広く利用されている施設であること。



以上の観点を踏まえ、以下4つの施設を検討

①藤崎台県営野球場

②熊本武道館

③熊本県立総合体育館  
(アリーナ)

④県民総合運動公園  
陸上競技場  
(スタジアム)

## 1-2 検討内容について

- 本検討会議では、主に以下の項目について、検討を行う。

**①課題・役割**：各施設が抱える課題を整理するとともに、スポーツを「する側」「見る側」の視点など、様々な観点から、各施設に求められる役割や必要性を検討する。

**②立地**：各施設の立地を検討する。  
(現在の場所とするか、新たな場所を候補地とするかなど)

**③規模・機能**：各施設の収容人数（規模）のほか、トレーニングルーム・VIP室の有無などの機能面を検討する。

**④整備手法**：民間事業者主体の整備も含め、各施設の整備手法について検討する。（新設・建替え・改修、公設・民設、公営・民営など）

## 2. 各施設の現状と課題



## 2-1 対象施設（概要）

	藤崎台県営野球場 (リブワーク藤崎台球場)	熊本武道館	熊本県立総合体育館	熊本県民総合運動公園 陸上競技場 (えがお健康スタジアム)
施設画				
竣工年	1960年(築64年)	1971年(築53年)	1982年(築42年)	1998年(築26年)
プロ スポーツ	火の国サラマンダーズ	-	熊本ヴォルターズ	ロアッソ熊本
収容人数 席数	約24,000人	約400人	4,110席	約30,000人
使用実績 (R5)	24,990人	44,596人	270,986人	110,542人
駐車可能 台数	約50台 (臨時:200台追加)	70台	約290台	公園内5箇所合計 約2,000台

### ①老朽化

...竣工から数十年経過する施設も存在

### ②機能面

...駐車場不足、設備機能の改善 等

### ③交通アクセス

...渋滞対策

## 2-3 現状及び課題 (藤崎台県営野球場)

### 藤崎台県営野球場

#### 現状

- 主に高校野球や火の国サラマンダーズの試合等で利用。プロ野球公式戦も開催されている（直近2年間は各1試合）。
- 敷地は国有地で、無償貸付を受けた熊本市が管理を行う都市公園の一部。
- 2016年に野球関係団体が新球場建設を求める要望書と27万人の署名を提出。ヤクルトスワローズ村上選手からも要望あり。

#### 課題

- 建設から60年以上が経過し、老朽化が進行。（特にトイレ、ロッカールーム等）
- 大会時に駐車場不足が発生。
- 試合前の練習場所（室内練習場やサブグラウンド）が未整備。
- 埋蔵文化財、特別史跡「熊本城跡」及び国指定天然記念物「藤崎台のクスノキ群」の保護・保存上、内容によっては工事が制限される恐れがあるため、建替や拡張は事実上困難。

## 2-3 機能及び稼働実績 (藤崎台県営野球場)

### 【令和5年度実績】

実施スポーツ プロ：野球（火の国サラマンダーズ〈九州アジアL〉、プロ野球公式戦・オープン戦）  
プロ以外：硬式野球、軟式野球 等

機能	利用区分		年間稼働日数	年間利用件数	備考
野球場	入場料なし	職業	174 / 193 (※)	13件	
		一般		36件	
		学生		98件	
	入場料あり	職業		29件	プロ野球公式戦、 火の国サラマンダーズ
		一般		0件	
		学生		53件	高校野球の大会が過半
選手控室			103件		
会議室			41件		
主催者室			100件		

※令和5年度は、観覧席フェンスやスコアボード改修のため、例年より利用可能日数が減少（R4:261日→R5:193日）

### 熊本武道館

#### 現状

- 武道愛好者の個人利用の他、小規模大会、昇段審査、講習会、武道教室等で利用。
- 敷地は熊本市所有、建物は県と市が共同管理（負担割合：県2/3、市1/3）
- 平成8年2月県議会において、総合武道館建設に関する請願が採択されている。

#### 課題

- 建設から50年以上が経過し、老朽化が進行。
- 剣道場・柔道場の面数や観客席数、駐車場の狭さから開催可能な大会規模に限りがある。
- 剣道場・柔道場に空調設備がない。
- 市条例等の用途制限等があり、建替・増改築に規制がかかる。

## 2-3 機能及び稼働実績（熊本武道館）

### 【令和5年度実績】

#### 実施スポーツ

プロ：なし

プロ以外：剣道、柔道、空手、なぎなた、銃剣道、合気道、少林寺拳法、日本拳法、その他武道（居合道・杖道・古武道）等

利用区分		年間稼働日数	年間利用件数	備考
個人使用	一般	—	7,765件	
	大学・高校生	—	223件	
	中学生以下	—	5,548件	
団体使用	柔道場（3面）	307 / 309	304件	
	剣道場（3面）	307 / 309	212件	
	小道場（2部屋）	291 / 309	492件	
	会議室（2部屋）	139 / 309	192件	

### 熊本県立総合体育館

#### 現状

- 日常の健康・体力づくりや様々な規模のスポーツ大会等に幅広く利用。熊本ヴォルターズのホームアリーナとしても使用されている。
- 女子ハンドボール世界選手権（2019年）やバドミントンの国際大会「熊本マスタースターズジャパン」（2023～2026年）も開催。

#### 課題

- 建設から40年以上が経過し、老朽化が進行。
- 熊本ヴォルターズが、新Bリーグ（Bプレミア）への参入を目指す上で、新リーグの基準となる座席数（5,000席）等の要件を満たしていない。
- 大会開催時等に近隣住民から騒音に関する苦情や近隣店舗から無断駐車に関する苦情あり。

## 【令和5年度実績】

**実施スポーツ** プロ：バスケットボール（熊本ヴォルターズ）  
バレーボール（フォレストリーヴズ熊本）  
プロ以外：バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、体操、バドミントン、水泳、レスリング、ボクシング、卓球、フェンシング、バウンドテニス、太極拳等

機能	利用区分		年間稼働 日数	年間稼働 実績	備考	
大体育室 1,814m <sup>2</sup> 4,110席	専用使用	入場料なし	324 / 324	アマチュア スポーツ	149件	
				アマチュア スポーツ以外	49件	ヴォルターズ準備、 Vリーグ準備 等
		入場料あり		アマチュア スポーツ	8件	
				アマチュア スポーツ以外	27件	ヴォルターズ ホームゲーム、 Vリーグ 等
	一般使用	テニス		136件		
		バスケットボール		435件		
		バレーボール		539件		
		バドミントン		975件		

### 【令和5年度実績】

機能	利用区分		年間稼働日数	年間利用件数	備考
中体育室 1,439㎡	専用使用	入場料なし	324 / 324	アマチュアスポーツ	198件
				アマチュアスポーツ以外	0件
	一般使用	バスケットボール		810件	
		バレーボール		501件	
		バドミントン		2,071件	

小体育室 422㎡	一般使用	ボクシング	324 / 324	4件	
		レスリング		405件	
		フェンシング		107件	
		卓球		2,379件	
		その他		83件	

## 【令和5年度実績】

機能	利用区分	年間稼働日数	年間利用件数	備考
プール	専用使用	293 / 293	23件	
	一般使用		44,723件	
トレーニング室	一般使用	301 / 301	55,889件	
元気体力測定室	一般使用	42 / 303	91件	
会議室	専用使用	305 / 322	194件	
和室	専用使用		122件	

### 県民総合運動公園陸上競技場

#### 現状

- 各種陸上大会をはじめ、サッカーやラグビーの試合が開催される多目的競技場で、ロアッソ熊本のホームスタジアム。
- ラグビーワールドカップ（2019年）の会場となった他、コンサート開催実績あり。
- ロアッソ熊本から、サッカー専用のスタジアム整備を望む声あり。

#### 課題

- 建設から25年以上が経過し、老朽化が進行  
（2023年に天井板落下による人身事故発生）
- 公共交通機関によるアクセス手段が乏しく、大規模な大会・イベント開催時におけるアクセス改善及び渋滞対策が急務（実証事業中）。

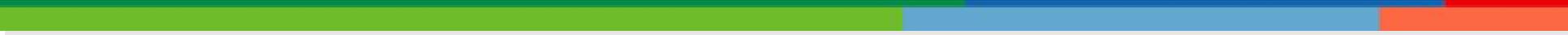
## 2-3 機能及び稼働実績 (熊本県民総合運動公園陸上競技場)<sup>16</sup>

### (4) 熊本県民総合運動公園陸上競技場

実施スポーツ プロ：サッカー（ロアッソ熊本〈J2〉）  
プロ以外：陸上、サッカー、ラグビー 等

機能	利用区分		年間稼働日数	年間利用件数	備考	
競技場	専用使用	入場料なし	328 / 328	アマチュアスポーツ	175件	
				アマチュアスポーツ以外	25件	ロアッソ熊本準備
		入場料あり		アマチュアスポーツ	4件	陸上大会等
				アマチュアスポーツ以外	25件	ロアッソ熊本
	一般使用	一般		2,658件		
		学生		7,785件		
会議室	A		299件			
	B～F		230件			
トレーニング室			23,528件			

## 3. 調査委託について



### 調査目的

【令和4年度】 「熊本県スポーツ施設整備の在り方調査業務」

→ **県が主体** となって、各スポーツ施設を整備する場合を想定

- ・整備コスト
- ・運営コスト
- ・収支予想分析            などを調査



- ・整備の検討に当たり、公民連携の視点が不可欠
- ・近年、人件費・資材費が高騰

【令和6年度】 「公民連携による熊本県スポーツ施設整備に関する調査業務」

→ **公設に限らず、民間活力の導入や民間事業者主体による整備手法なども視野**

- ・改めて整備コスト
- ・運営コスト
- ・経済波及効果            などを調査

### 調査内容

整備・運営  
手法

整備・運営  
コスト

整備・運営  
主体

①公設・民設、②公営・民営、③公民連携による様々な整備・運営手法（PFI事業・ふるさと納税等）やコストを調査

整備手法、運営手法及び事業スキームにおける行政と民間の役割

・その他調査項目：収支予想分析など



本検討会議にフィードバック

## 4. 民間資金の活用事例



## 4-1 民間資金の活用事例①

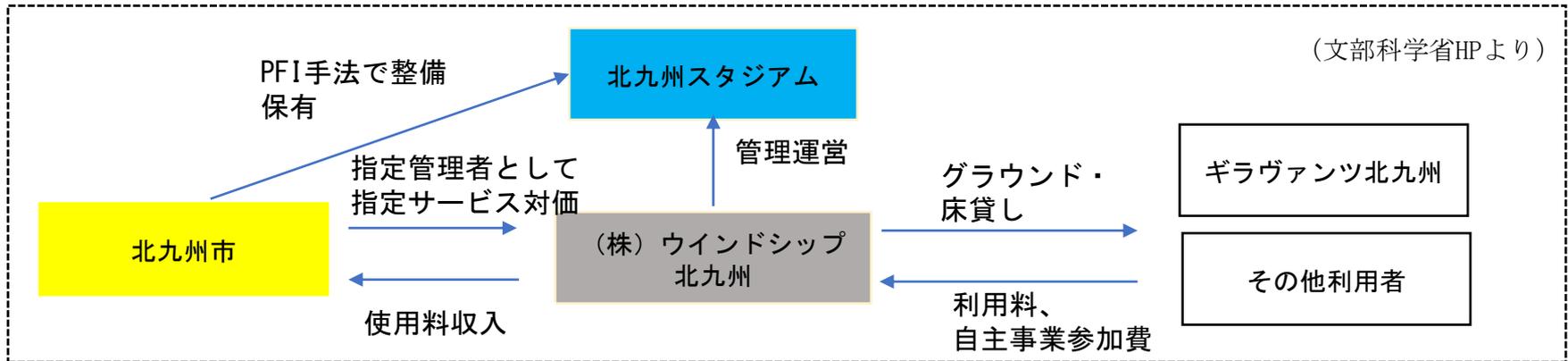
### (1) PFI (BTO方式: ミクニワールドスタジアム北九州) 北九州市

- 観客席15,300人、JR小倉駅から徒歩7分の立地にあるスタジアム。ギラヴァンツ北九州(Jリーグ)のホーム。土地の所有は民間、建物の所有は北九州市。
- 日本初のPFI手法によるスタジアム整備プロジェクト。BTO方式により施設を整備後、SPC(特別目的会社)が指定管理者として維持管理・運営を請け負う。
- 整備費は、約99億円。スポーツ振興くじの活用及び公共で負担。また、管理運営においてもサービス購入料として、北九州市は年間約1億円を支出している。



(提供: 北九州市)  
平成29年3月オープン

※BTO方式とは…PFI事業者が資金調達し、施設の完成直後に公共に所有権を移転し、PFI事業者が維持管理・運営を行う。



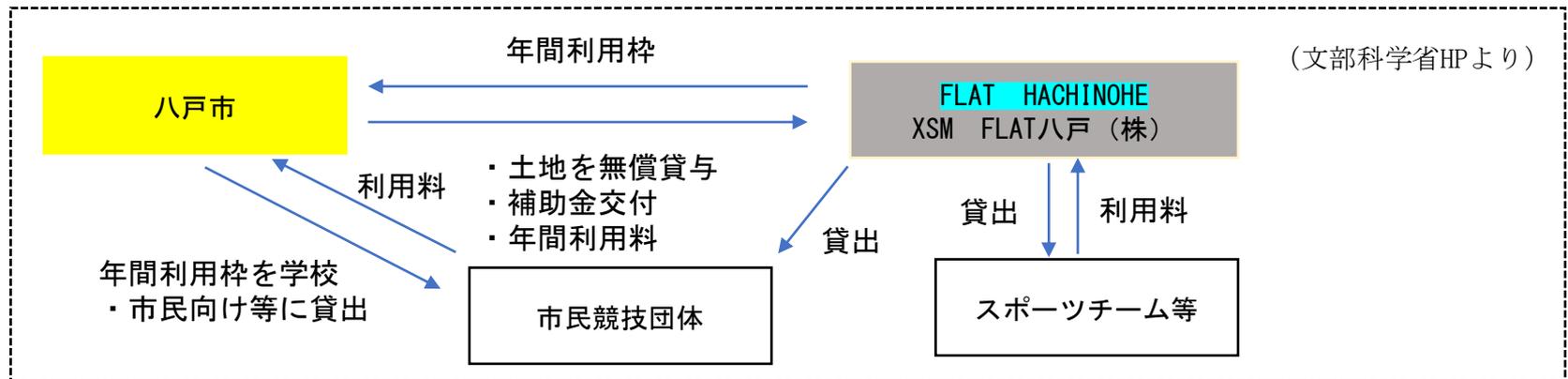
## 4-1 民間資金の活用事例②

### (2) 民設民営（フラット八戸）八戸市

- 観客席（バスケットボール時）約5,000人、JR八戸駅から徒歩2分の立地にある多目的アリーナ。  
東北フリーブレイズ（アジアリーグアイスホッケー）のホーム。  
土地の所有は八戸市、建物の所有は民間（事業主体）。
- 民間企業が八戸市有地を無償貸借し、自らの資金調達で興行用アリーナを整備・管理運営する。
- 整備費は非公開。  
市は年間2,500時間分の利用枠を30年間×1億円/年で、固定的に借り受ける。



令和2年4月オープン



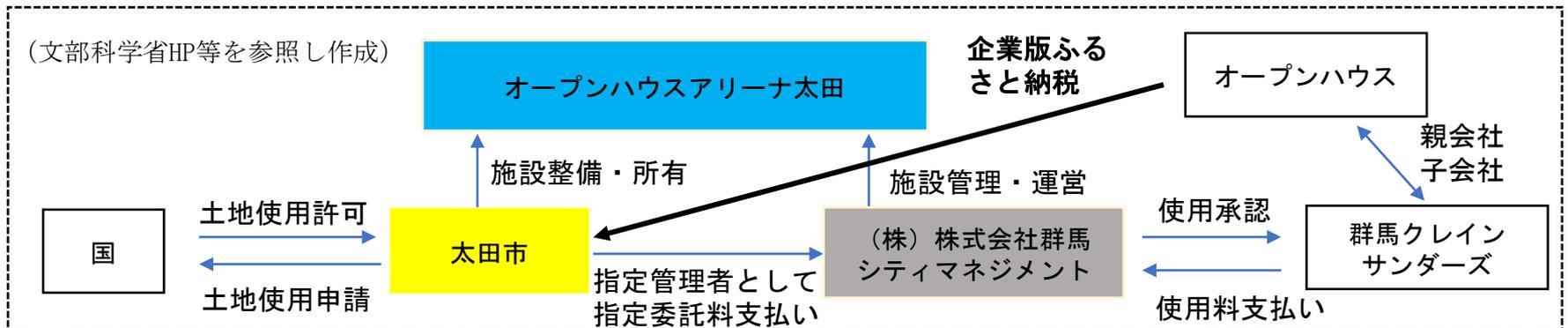
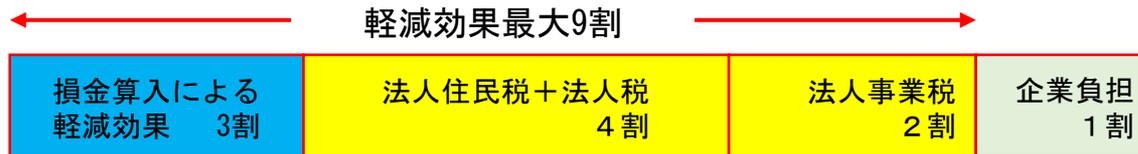
## 4-1 民間資金の活用事例③

### (3) 企業版ふるさと納税（オープンハウスアリーナ太田）太田市

- 観客席は約5,000人（立見席含む）、竜舞駅から徒歩20分の立地にあるアリーナ。群馬クレインサンダーズ（B1）のホーム。  
土地の所有は国、建物の所有は太田市。
- 群馬県のオープンハウスアリーナは、整備費が約80億円。  
半分の40億円は企業版ふるさと納税を活用。管理・運営は、指定管理者が行う。
- 地方自治体が「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を地域再生計画として内閣府に申請。内閣府の認定を受けた事業に対し、企業が寄附を行った場合に税制上の優遇措置が受けられる。



令和5年4月オープン



## 4-1 民間資金の活用事例④

### (4) 負担付寄附（パナソニックスタジアム吹田）吹田市

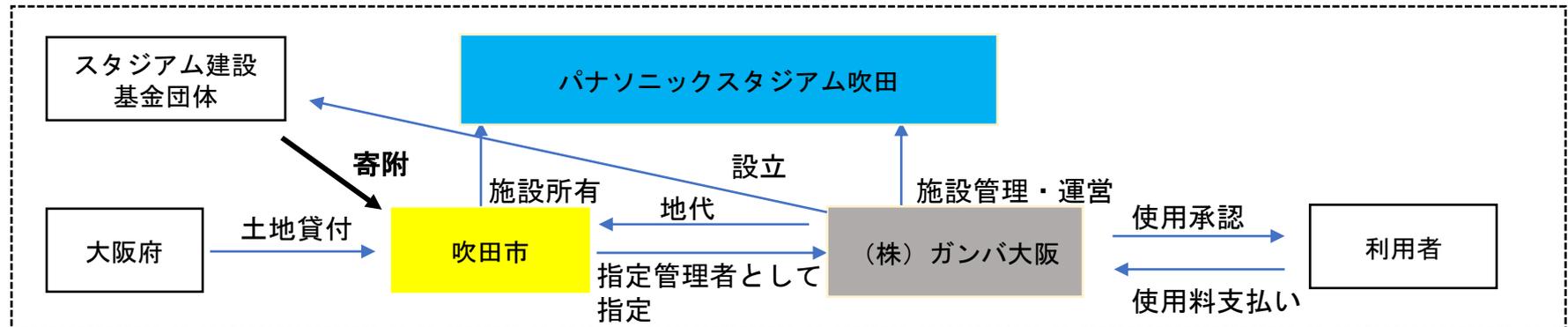
- 観客席は、約40,000人、モノレール「万博記念公園駅」から徒歩15分の立地にあるサッカー専用スタジアム。ガンバ大阪（J1）のホーム。土地の所有は大阪府、建物の所有は吹田市。
- パナソニックスタジアム吹田は、ガンバ大阪等が資金調達を行い施設を整備し、吹田市に寄附を行った。  
（募金活動を行い、法人721社から約99.5億、個人34,627名から約6.2億を集めた。ふるさと納税制度による税控除の仕組みを活用。）  
※その他、スポーツ振興くじ助成など、約35.1億の助成を受けている。
- チームは指定管理者として長期間指定され、固定資産税はかからない。



平成27年10月オープン

※負担付寄附とは…民間事業者が施設を整備し、自治体に施設を寄附。

寄附を行う民間事業者が施設の管理・運営を実施することを寄附の条件とするもの。



行政と民間が協力し連携することで、行政負担の軽減効果だけではなく、「まち」の価値を高めることにつながる様々な効果が期待される。

### 行政負担の軽減

- ・ 民間包括委託による管理労力の軽減
- ・ 一体的管理による維持管理費の軽減
- ・ 地代や使用料による財源の確保

### 様々な住民 ニーズへの対応

- ・ ニーズに応じた柔軟なサービスへの対応
- ・ 公共サービス利用可能時間帯の拡大
- ・ 民間事業と連携した新サービスの創出
- ・ 複合施設化による利用者利便性の向上

### 周辺地域の イメージアップ

- ・ 地域のコミュニティ拠点としての役割
- ・ 良好な基盤整備に伴う安全安心の確保
- ・ 適切な維持管理による施設の美化促進
- ・ 新たな緑地やオープンスペースの創出

### まちづくりへの 波及効果

- ・ 新たなサービスや雇用の場の創出
- ・ イベント企画による賑わいの創出
- ・ 再開発との連携によるまちの活性化
- ・ 商業施設等の誘致による集客力の強化

## 5. 今後のスケジュール（案）



## R6年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

第1回  
会議

市町村へ照会

プレゼンの有無

第2回  
会議

第3回  
会議

各施設の現状  
と課題の把握

自治体、スポーツ関係者へ  
ヒアリング

- ①自治体、スポーツ関係者へヒアリング
- ②整備手法等の比較

## R7年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

【想定する検討項目】

- ・スポーツ関係者へヒアリングを実施
- ・コスト比較、整備・運営主体の整理

⇒スポーツ施設整備の方向性の整理

## 6. 参考（交通アクセス）



## (1) 藤崎台県営野球場



- ・ (市電) 蔚山町から徒歩5分
- ・ (バス) 蔚山町から徒歩5分 (バス停：熊本駅から蔚山町まで約10分)

## (2) 熊本武道館

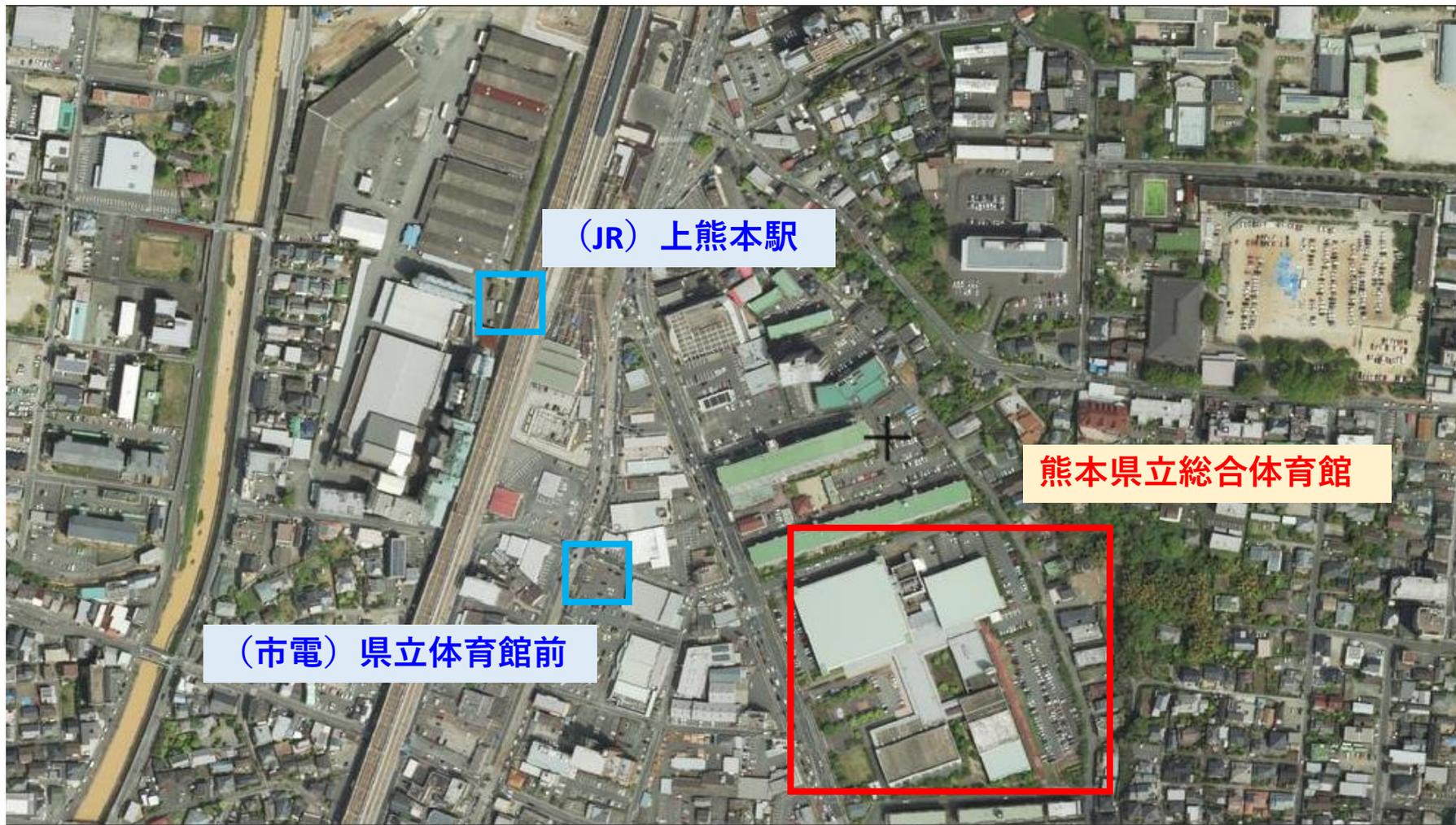


- (JR) 水前寺駅から徒歩20分
- (市電) 国府から徒歩15分

(車)

- 熊本ICから約30分
- 益城熊本空港ICから約15分

## (3) 熊本県立総合体育館



- (JR) 上熊本駅から徒歩5分
- (市電) 熊本県立体育館前から徒歩3分

(車)

- 熊本ICから約35分
- 益城熊本空港ICから約40分

## (4) 熊本県民総合運動公園陸上競技場



(車)

- ・ 熊本空港から約20分
- ・ 熊本駅から約40分

(バス)

- ・ 桜町バスターミナルから約40分  
「パークドーム熊本前」

